

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	育英奨学金事業	所管	教育委員会教育総務部 教育総務課
			TEL 2998-9232

事業の目的 (何の為に 行うか)	高等学校または高等専門学校に在学し経済的理由により修学困難な者に対して、修学上必要な勉強資金の一部を支給し、勉強の機会を与え、以って有能な人材を育成することを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	申請者数	対象とした数	139	人
		実際に 利用した数	110	人

活動の内容 (何を したか)	1 広報ところざわ及び市内公立中学校を通じて募集を行う。 2 申請に基づき、所得基準、成績基準、学校長の推薦書及び市税滞納・未申告の有無により選定する。申請者の数が1学年の定員である40名を超えた場合は、所沢市入学準備金貸付等審査会において選定する。 3 選定した生徒の保護者には、毎月末に奨学金5,000円を支給する。								
	活動実績	項目名	申請件数	139	項目名		項目名		単位
			単位	件				単位	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	7,200	6,420	7,923	23.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	支給人数	育英奨学金支給対象人数	120	110	91.7
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []			
		終了	⇒ 事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了		
	予算	現状どおり	増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	120100	TEL	2998-9232
事業コード	育英奨学金事業	教育委員会教育総務部	教育総務課			
120102		グループ	教育支援担当			
開始年度	昭和 25 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	教育基本法、所沢市育英奨学金条例、所沢市育英奨学金条例施行規則			
	関連・類似事業	遺児奨学金事業			
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育
				中柱	小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ…H19 *** H20 ***		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード		コード		
事業開始の背景	昭和22年3月31日公布、施行された教育基本法の第3条(教育機会の均等等)の規定により、昭和25年度から開始した。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	高等学校または高等専門学校に在学し経済的理由により修学困難な者に対して、修学に必要な勉強資金の一部を支給し、勉学の機会を与え、いって有能な人材を育成することを目的とする。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)								
	申請者数			利用数の考え方					
	認定者数								
対象数	単位	平成 18 年度	125	人	利用数	単位	平成 18 年度	105	人
		平成 19 年度	139	人			平成 19 年度	110	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
1 広報とこざわ及び市内公立中学校を通じて募集を行う。									
2 申請に基づき、所得基準、成績基準、学校長の推薦書及び市税滞納・未申告の有無により選定する。申請者の数が1学年の定員である40名を超えた場合は、所沢市入学準備金貸付等審査会において選定する。									
3 選定した生徒の保護者には、毎月末に奨学金5,000円を支給する。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		7,200	7,200	7,200	
	決算(見込み含む)		6,285	6,420		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.16 人	1,472	0.16 人	1,503
	公債費					
	事業費合計		7,757	7,923		
	財源内訳	一般財源		7,757	7,923	7,200
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			23.0	23.4		
利用数一単位あたり(単位:円)			73,876.2	72,027.6		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	申請件数	件	125	139	120	120	
	成果分析	支給人数	育英奨学金支給対象人数	目標値	120	120	120	
				実績	105	110	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1
				% 達成率	87.5	91.7		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	特になし		
		今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定			
	平成21年度における事業の方向性			
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	学業の成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由のために修学が困難となってしまうと、当該生徒のみならず、ひいては社会全体の損失につながる。経済的な負担の大きい家庭の生徒に奨学金を支給することで、生徒の能力を伸ばし、将来はその能力を社会に還元することができるため、今後も継続していきたいと考えている。			
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	教育総務課長 村上 光利	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	施策の体系				
	施策の方向				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	2132
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
主要課題	1すべての子育て家庭への支援				
施策の方向	3経済的支援の充実				